

令和5年度放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年3月22日

事業所名：育ちの広場すてっぴ 保護者等数25 回収数24 割合 96%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	54%	33%	0%	13%	・限られたスペースで工夫されているとは思わう。 ・室内も皆それぞれ課題したりおかし食べたりのスペースはあると思います。 ・スペースは確保されていると思うが子どもたちが成長していくと狭く感じ圧迫感がある。	設備基準を満たしている広さではありますが、高等部生や職員が室内に複数いると狭いと感じる方もいらっしゃるかと思います。グループでの公園遊びなど、室外・室内の活動を工夫して組み合わせ、室内の活動に必要なスペースを確保して取り組んでいます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	79%	13%	0%	8%	・配置数に関しては全体のことは分かりませんが、自分の子どもに対しては配慮してくださっているように思います。 ・職員の方がしっかりと見守られてその子その子に合ったことを工夫してされていると思います。 ・指導員の方によると思います。	配置数も基準を満たしており、また必要に応じて基準以上の職員を配置して、必要な個別対応をしております。また年6回以上の研修を実施して支援に臨んでいるところですが、より専門性を高めていけるよう研鑽してまいります。
	3 事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー配慮がなされている	75%	8%	0%	17%	・配慮されていると思います。	車いすでもスムーズに出入り・移動できるよう配慮しております。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されている	96%	0%	4%	0%	・一人一人を見て専門的にどういったことができるのかと計画されていると思います ・親の要望をもう少し聞いてほしい。	支援計画の検討会議をかならず開くようにして、職員全員で検討しています。支援項目や支援内容を面談の中で分かりやすいように伝えるとともに、保護者様のご意見を反映させて作成するようにしているところですが、保護者様一人ひとりの思いを聞き取りできるよう努めてまいります。
	5 活動プログラム*が固定化しないよう工夫されている	88%	8%	0%	4%	・本人が楽しめたり、まわりの友だちとできる活動をいろいろ考えてもらっている。 ・外遊びも含め、友だちとの関わり方、声掛け、作業など考えておられると思います。	
	6 障害のない子どもと活動する機会を設けている	38%	4%	0%	58%		・公園など、地域のお子さんと一緒に場で過ごす中で、自然と地域のお子さんが遊びに加わってきたときは、事故のないよう配慮しながら、関わりを大事に支援しています。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされている	100%	0%	0%	0%	・説明を受けました。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	96%	0%	4%	0%	・子どもの様子を丁寧に観察していただき記録してくださっています。 ・利用日の様子をすぐ分かりやすくスマホで見られるので安心しています。 ・学校の先生よりも頼りになり困ったことがあったら相談したいと思える。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	96%	4%	0%	0%	・面談などでも納得のいく意見をもらっている。 ・いつも面談では適切なアドバイスをいただき感謝しています。 ・専門の知識を持っておられるのですぐに分かって支援してもらっています。 ・些細なことでもしっかり聞いていただき急な面談のお願いにも対応していただき感謝です。	
	10 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	63%	0%	0%	38%	・苦情が出たことないので判らない	苦情受付体制は整えるとともに、契約時に保護者様に説明をしているところではありますが、事業所内に掲示する等、苦情受付体制の案内を進めてまいります。
	11 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	92%	4%	0%	4%		
	12 定期的に会報やホームページ等で、活動や業務の情報を子どもや保護者に発信している	100%	0%	0%	0%	・ホームページのブログは他の事業所では中々ここまでやられていない。 ・とても楽しみにしています。	ブログは週1回の更新を目指しておりますが、更新が不定期になっており、申し訳ありません。通信を含め、定期的に発信できるよう努めてまいります。
	13 個人情報保護に十分注意しているか	92%	4%	0%	4%		

非常時等の対応	14	緊急時等の対応マニュアルを保護者に周知・説明している	92%	4%	0%	4%		
	15	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	96%	0%	0%	4%	・避難訓練の様子など毎年通信でも報告あり。	
満足度	16	子どもは通所を楽しみにしている	83%	8%	0%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回すごく楽しみにしているのですがその姿が見れてうれしいです。</li> <li>・中に入ってしまうは楽しく過ごせている行くまでいろいろ大変さはある。</li> <li>・気分によって反応が変わるのでちょっと分からない。</li> <li>・基本楽しみだと思いが高学年になるとブチ？反抗期もあり「行かへん行きたくない楽しくない」との言葉が増えたかなーと思います。</li> </ul>	お子さんの課題に応じて、活動後や利用後に振り返りを行い、思いを伝えられたり、よかったことを確認したりできる機会を作っています。またお子さんの課題や目標に合わせてながらも、楽しめる取り組みや活動を意識して取り組んでいます。ご家庭で保護者様に伝えようとおられるお子さんの思いは、職員とはまた違うかもしれませんが、それも大事なお子さんの思いです。保護者様が受け止めていただきながら、事業所・職員に伝えていただけたいと思います。
	17	事業所の支援に満足している	96%	4%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足しています。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> <li>・とても満足している保護者にとってまでデイでここまで頼るところはないと思っています。</li> <li>・すてっぴに出会えたことは子どもはもちろん家族にとってもすごく感謝しています。</li> <li>・支援にはとても感謝しています。「すてっぴ」がなければどうなっていたことか…。</li> <li>・親の希望（要望）をもう少し聞いてほしい。</li> </ul>	ありがたい言葉をたくさんいただいております。職員一同、大変励みになっております。皆様のご期待に応えられるよう、日々の研鑽を怠らず、専門性を高めていきたいと思います。またお子さん・保護者様の思いを受け止められますように、振り返りや報告、面談などやりとりを欠かさないようにするとともに、伝えやすい体制づくりに努めてまいります。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

※10%以上増減のあったものに赤色矢印、80%未満で改善されていないものに赤色四角印をつけました。なお設問内容を変更したものは、参考として、印の色を黄色に変えています。

令和5年度放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年3月22日

職員数：常勤5非常勤8

事業所名：育ちの広場すてっぴ

回収数：常勤5非常勤7

回収率：92%

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	67%	25%	8%	グループでの公園遊びなど、室外・室内の活動を工夫して組み合わせ、スペース確保に努めました。	今後も外出活動との組み合わせでスペース確保に努めます。グルーピングが進められるよう必要に応じて時間や曜日の変更を提案していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	58%	33%	8%	毎日の打ち合わせ後に必要に応じて常勤・非常勤職員で研修を行い、専門性の向上を図りました。	
	3 事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー配慮がなされている	92%	8%	0%		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を、多くの職員が理解し実践している	75%	25%	0%		一人でのPDCAサイクルでは思考が固着してしまう恐れがある（1対1支援では特に）ので、職員間で共有していきます。
	5 アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	92%	8%	0%	昨年の反省を生かし、アンケートなど保護者の意向が分かるものを綴じたファイルを非常勤職員も見れる職員スペースに置くようにしました。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の通信やホームページ等で公開している	83%	17%	0%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	17%	0%		
適切な支援の提供	8 職員の資質を向上させるために、研修の機会を確保している	75%	25%	0%	毎日の打ち合わせ後に必要に応じて常勤・非常勤職員で研修を行い、専門性の向上を図りました。	左記の研修以外にも、研修のみを行う時間を確保できるよう工夫し、資質向上が積み重なっていることを実感できるようにしていきたいと思います。
	9 子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で、個別支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール（検査など）を使用している	92%	8%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	92%	8%	0%		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	92%	8%	0%		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	92%	8%	0%		
	14 子どもに応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで個別支援計画を作成している	92%	8%	0%		
	15 職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%		
	16 職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	0%	常勤職員では毎日会議を開き、前日の振り返りを行うように努め、非常勤職員も毎日の打ち合わせの中で必要に応じて振り返りを行いました。	毎日の打ち合わせの中で振り返りをできる限り行うようにし、非常勤職員も振り返りできることを増やしていきます。また毎日の記録をつけてもらっていますが、常勤職員との共有を意識づけることで、振り返りする機会を増やしていきたいと思います。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
	18 定期的に事後評価を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	92%	8%	0%		
19 療育・創作・交流・余暇支援の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	100%	0%	0%			

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 利用者の関係機関の会議(サービス担当者会議など)に最もふさわしい者が参画している	92%	8%	0%		
	21 学校との情報共有、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	92%	8%	0%		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23 就学前に利用していた事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%	0%	今年度はその機会がありませんでした。	連携したことは支援計画に記載、または別紙を添付し、非常勤職員も確認できる職員スペースに置くようにします。
	24 卒業後に利用している障害福祉サービス事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%	0%	今年度はその機会がありませんでした。	連携したことは支援計画に記載、または別紙を添付し、非常勤職員も確認できる職員スペースに置くようにします。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関の助言や研修を受けている	83%	17%	0%		
	26 小学校や支援学校の児童生徒がいっしょに活動する機会を設けている	92%	8%	0%		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している					
	28 日常的に保護者と子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っている	100%	0%	0%		
29 子育て支援として、保護者に対して助言・指導(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	75%	25%	0%	今年度はペアレントトレーニングを行う機会はありませんでした。必要に応じて事業所内相談に応じ、保護者に助言・指導を行いました。	今後も必要に応じて面談などで保護者への助言・指導を行っていきます。ペアレントトレーニングについては実現可能か検討を続けていきます。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	92%	8%	0%		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	92%	8%	0%		
	32 子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応している	92%	8%	0%		
	33 定期的に通信等を発行し、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%		
	34 個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	35 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	92%	8%	0%		
	36 地域住民と関わったり周辺施設を利用したりと、地域に開かれた事業運営を図っている	75%	25%	0%	地域施設での買い物活動を、地域施設への避難訓練を行いました。	左記の活動を続けていくとともに、地域施設で住民に関わる機会を模索していきます。
非常時等の対応	37 緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	92%	8%	0%		
	38 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%		
	39 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	92%	8%	0%		
	40 身体拘束について、保護者に事前に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	83%	17%	0%	該当児がいるため、支援計画に記載するとともに、管理者が記録を行いました。常勤・非常勤が参加する日々の打ち合わせで共有しました。	記録を職員スペースに置くようにして、常勤・非常勤職員も確認できるようにします。
	41 利用者の食物アレルギーについて、該当者が周知され、医師の指示書に基づく対応がとられている	92%	8%	0%		
	42 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	92%	8%	0%		

※ 10%以上増減のあったものに赤色矢印、80%未満で改善されていないものに赤色四角印をつけました。なお設問内容を変更したのものについては、参考として、印の色を黄色に変えています。

令和5年度自己評価と保護者評価について 第3者意見

評価日 : 令和6年3月20日

第3者評価者名 : 葉狩里美

事業所名 : 育ちの広場すてっぴ

区分	評価	助言
環境・体制整備	グループでの公園遊びなど、室内外の活動を組み合わせるなど、工夫されていると感じられます。より望ましい支援をスタッフが共有、資質向上のための研修をしたり、保護者の意向を把握したりするために日常の業務改善がうかがえます。	今後も外出活動などを組み合わせて、スペース確保に努められると望ましいです。情報共有できる工夫をされていますが、どうしてもファイルを見ることは優先順位が下がってしまう可能性もあるので、可能な限り、非常勤のスタッフも含め、会議などで話し合えるといいかと考えます。
適切な支援の提供	『一人一人を見てどういったことができるか、専門的に計画されている』『本人が楽しめたり周りの友達とできる活動を考えてもらっている』など、保護者の声がありました。いろいろな願いがある子どもたちと柔軟なかかわりを意図をもってされていることがわかり、大切だと感じます。	支援計画の検討会議で、丁寧にスタッフ全員での共有されていることを今後も大切にしてください。また、公園など、地域の子もたちと一緒に場で過ごす中で、事故などには十分配慮しながら、自然な関わりを大切にされていくことを期待します。
保護者への説明等	ホームページやブログ、さらに利用日の様子をスマホで見られることは保護者からわかりやすいし、安心できるとの声があります。発信は大変だと思えますが、継続してほしいものです。面談でも納得できる意見や適切なアドバイスがもらえるということです。信頼されていることがよくわかります。	ブログが不定期になってしまうことは大変忙しい中では仕方がないことだと考えます。しかし、保護者が情報を待っていらっしやるのも事実です。可能な限り、発信されることを期待します。保護者の様々な悩みなどに丁寧に対応されている様子がわかります。社会で子どもを育てていくという視点で今後も共有して行ってください。
その他		